

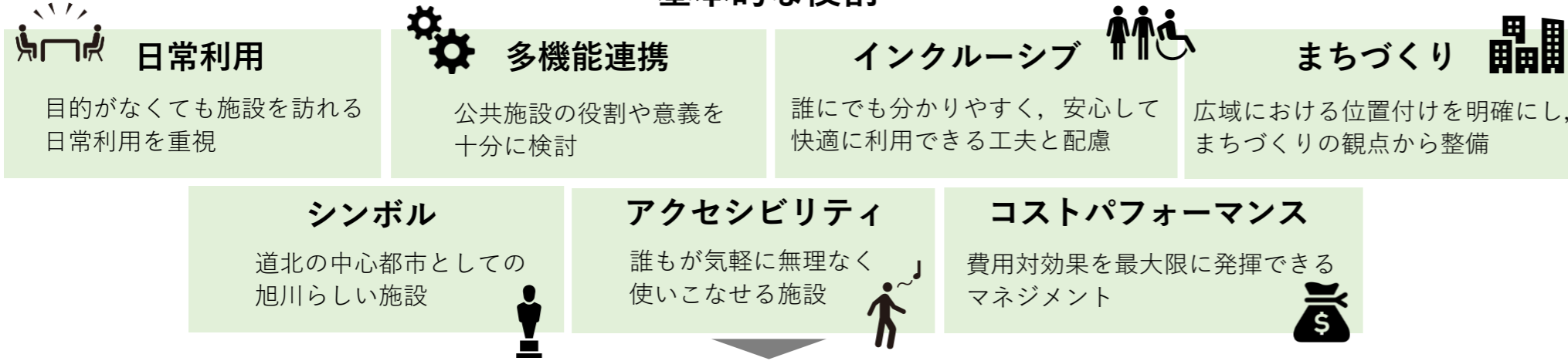
旭川市民文化会館整備基本構想（案）（概要版）

旭川市民文化会館の建替えによる整備について、（仮称）新文化ホールの役割や意義をうたうテーマとして「基本理念」を掲げるとともに、基本理念を達成するために担うべき7つの「基本的な役割」と4つの「施設機能」を設定します。

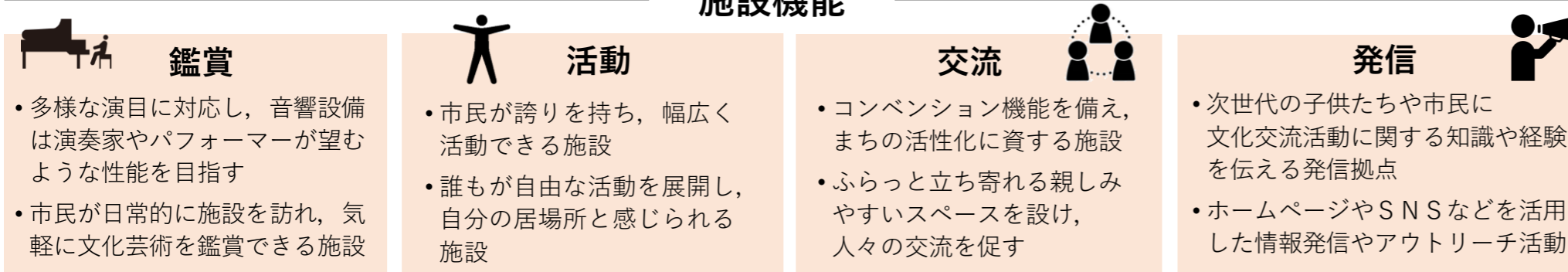
基本理念

次世代へつなげる文化交流活動の拠点 ～ 市民の誇りと愛着を育む道北のランドマーク ～

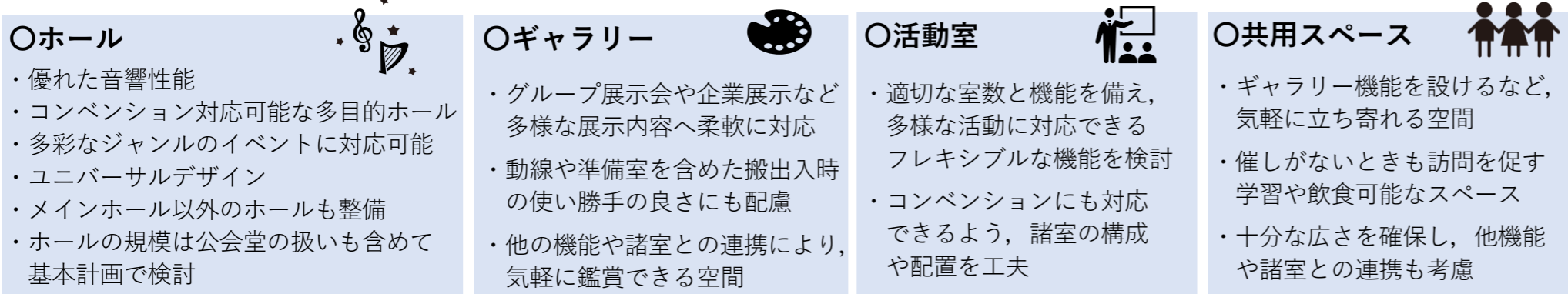
基本的な役割



施設機能



施設整備における配慮事項（一部抜粋）



敷地に求められる要素について

- 敷地に求められる要素
 - ① 敷地の安全性
 - ② 搬入経路の確保
 - ③ 駐車場の確保
 - ④ 公共交通の確保
 - ⑤ 広域的なゾーニング
- 今後策定する基本計画においては、施設整備計画（ゾーニング、諸室の配置等）、立地計画（配置・アプローチ等）を検討することになるため、基本計画策定の早い時期には、建設地を決める必要があります。

基本計画の策定に向けて

- 基本計画の策定に当たり、本基本構想を検討のガイドラインとします。
- 基本理念や役割に基づき、機能ごとのニーズを把握、必要な諸室を精査した上で、諸室の面積、設備のほか、配置や動線など多岐にわたり検討を深めていきます。

旭川市民文化会館の概要

しゅん工：昭和49年（1974年）12月16日
開館：昭和50年（1975年）2月2日
敷地面積：11,441㎡ 建築面積：6,102㎡ 延床面積：12,035㎡
諸室構成：大ホール（1,546席・車椅子席2席、楽屋4室）
小ホール（318席、楽屋3室）
展示室（598.47㎡） リハーサル室（135.16㎡）
会議室（6室） 和室（96.71㎡：舞台含む）

旭川市民文化会館の課題

- 耐震性能の不足
管理棟建物、ホール等の吊り天井が現行建築基準に不適合
- 建物の老朽化
建物全体の老朽化が著しい、ホールの遮音性が低い
- 設備の老朽化
各種設備が耐用年数を大幅に超過し故障リスクが高い
- ユニバーサルデザイン
バリアフリー面の措置が不十分
- 運用面の課題
平日など比較的利用が少ない時期の利用の掘り起こしが必要
料金設定や予約受付方法など、施設の運用面の取扱いも考慮

基本構想策定の経緯

【令和4年度（2022年度）】

- 旭川市民文化会館の在り方検討会
今後の目指すべき方向性、整備に向けた考え方など施設の在り方等について意見集約
→ 「建替えの方が望ましい」との意見が多くを占め、大規模改修について積極的な意見はなかった
- 専門機関による評価
当面の間、現施設を使用できるように改修を行い、現代の仕様に合った新施設の建替えを検討するのが妥当

旭川市民文化会館の整備の方向性
建替えに向けた検討を推進

【令和5年度（2023年度）】

- 旭川市民文化会館整備基本構想検討会
先行事例の施設概要・基本理念に係る情報共有
基本理念及び施設の機能等について意見交換
敷地に求められる要素について確認・意見交換

「旭川市民文化会館整備基本構想」策定